

# 令和2年度 事業報告書

法人の名称: NPO 法人 7seeds Japan

事業期間: 令和2年4月1日～令和3年3月31日まで

## 1. 組織名

NPO 法人 7seeds Japan

## 2. 所在地

神奈川県藤沢市鵜沼花沢町3番8～301

## 3. 組織概要

当団体は、2011年に東日本大震災被災者支援のための任意ボランティア団体として発足。6年間の継続支援ののち、より広範囲に渡った地域活性化を支援するため、2015年8月にNPO法人として再出発。

## 4. 組織活動動機

加速する情報化社会において、『地域のことは地域内で』といった既存の地域主導型コミュニティの形成ではなく、異なる目線を持った地域外の人材による考え方(企画など)も取り入れることで、都市部からの人の流入(現地での体験)を促し、その地域を外からも支援する都市部のファンを増やしていき、『都市部と地域をつなげた新たなコミュニティ』を作ることで、地域の活性化を目指している。また地域と海外を直接つなぐ架け橋となることで、海外需要を取り込み、地方を元気にしてゆく活動を継続的に行う事を目的としている。

## 5. 今年度活動概要

継続支援地域での活動の拡大およびその過程で新たに交流の生まれた地域同士を繋げる活動、さらに地域を海外へと結びつける活動を行いました。昨年度はコロナ禍により物理的な活動の多くが制限される結果となりました。難しい点もあった反面、リモート環境における事業継続の可能性に関して有益な経験を得られる結果となりました。

(1) 地域コミュニティの醸成とまち活性化を目的とした地域ブランディング支援事業  
地域ブランディング x 海外との懸け橋を行う事業

本法人の掲げる地域ブランディングの新たなツールとして、昨今注目されている持続可能な開発目標(SDGs)と Direct to Consumers (DTC)を軸に、当 NPO が地域事業に提案するブランディング手法に変更を加えました。具体的な支援実績はコロナ禍における影響により来年度以降に持ち越されます。

日時： 通年

- ・ 場所:埼玉県狭山市、京都府京田辺市、神奈川県藤沢市など
- ・ NPO 従事者人員: 延べ4名
- ・ 受益対象者:埼玉県狭山市、京都府京田辺市、神奈川県藤沢市

(2) 地域活性化を目的とした新たなビジネスモデルの創出、育成をする為の支援事業  
地域創生 大学キャンパスを使ったコミュニティ醸成と経営支援

少子化により定員割れを起こす可能性のある地方大学は現在、コロナ禍における受験生、新入生の更なる減少に悩まされています。当 NPO では、岡山県内の私立大学((3)の大学授業支援でサポートしているのとは異なる大学です)からの提案を受け、この問題を解決するための大学キャンパスのオープンソース化と、コミュニティ醸成の提案を行いました。実際の成果に関する報告は来年度以降となりますが、現在我が国が置かれた状況を打開すべく、地域との連携を深めております。

日時： 2021年1月 - 2021年3月

- ・ 場所:岡山県倉敷市
- ・ NPO 従事者人員: 延べ2名
- ・ 受益対象者: 上記大学の学生、岡山県倉敷市

(3) グローバルで活躍できる人材の育成、支援及びコーディネート事業  
地域創生 大学授業支援

地方国立大学における地域創生授業の支援

前年度より継続している活動である、地域問題を題材にした大学生向けの授業を行ないました。学生自身が地域の問題を考える事で、他の学生への波及や、各国への情報発信

を促すプログラムを実施することができました。2020年6月から2021年2月にかけて、国立大学法人 岡山大学において3日間、15時限の英語で地方創生を含めたビジネスモデルの策定と運用についての講義を実施。当NPOにてグローバルディスカバリーの授業を一部担当することとなりました。また、当NPOがサポートをしているその他の地域大学にも職員を非常勤講師として派遣し、日本語だけでなく、英語での授業を行いました。オンライン授業における難しさを教員として経験し、今後の業務改善につながる貴重な実績となりました。

- ・ 日時：2020年6月-2021年2月
- ・ 場所：岡山
- ・ NPO従事者人員：延べ50名
- ・ 受益対象者：岡山県内の国立大学、私立大学に通う大学生/当該大学への海外留学生
- ・ 収入：66,000円
- ・ 支出：116,000円

#### (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

##### 地域創生 新規商品開発

各地域の優れた製品の加工と海外進出支援

(1)におけるブランディング支援の一環として、実際にSDGsやDTCを交えたビジネスモデルを構築し、地域産品を活かした商品企画事業をスウェーデン企業と開始しました。具体的には、地域産品の中でも果物に特化し、フードロス問題を解決する商品を開発します。受益対象となる各自治体の生産者への経済的貢献を期すると同時に、今まで無価値だった廃棄対象産品を高付加価値で販売することにより、地域に眠る新たな資産の掘り起こしを行います。

- ・ 日時：2021年1月～現在継続中
- ・ 場所：岡山県、鳥取県全域、京都府京田辺市、埼玉県狭山市、スウェーデン(リモート)
- ・ NPO従事者人員：延べ4名
- ・ 受益対象者：当法人がサポートを行なっている地域の生産者